お客様用

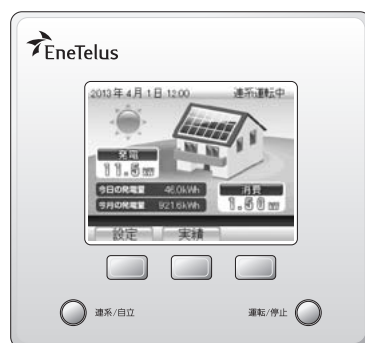
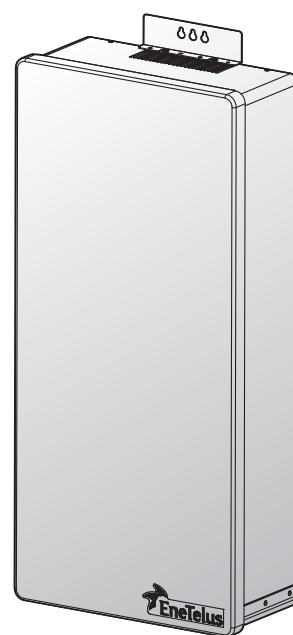
形名

EPC-A-S30P-H ＜パワーコンディショナ＞
EPC-A-S55P-H ＜パワーコンディショナ＞
EPC-B-S80P ＜パワーコンディショナ＞
EPC-B-S99P ＜パワーコンディショナ＞
ZREM-35ENV ＜リモコン＞

太陽光発電用システム
パワーコンディショナ／リモコン

取扱説明書

●ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

●取扱説明書はお使いになる方がいつでも見られるところに保管して、必要なときにお役立てください。

リモコン

パワーコンディショナ

※お手元のリモコンの品名が本書記載の品名と異なる場合、下記ホームページより取扱説明書をダウンロードしてご使用願います。

http://www.enetelus.jp/

もくじ

安全上のご注意 ………………………… 4
概要／機能 ……………………………… 6
太陽光発電の概要 ……………………… 6
便利な機能 ……………………………… 7

各部の名前とはたらき

各部の名前 ……………………………… 10
リモコン ………………………………… 10
パワーコンディショナ ………………… 13
リモコンの使いかた ………………… 14
トップ画面の見かた …………………… 14
トップ画面での操作のしかた ………… 16
運転モードについて …………………… 17

各種の設定をする

ディスプレイの明るさと点灯時間を設定する ……………………………… 20
発電開始日を設定する ……………… 22

発電の実績を見る・設定する

実績の確認 ……………………………… 26
実績を見る ……………………………… 27
発電量／消費量の実績を見る ………… 27
環境貢献の実績を見る ………………… 29
発電開始からの実績を見る …………… 30
省エネアシストの使いかた ………… 31
省エネアシストの目標を設定する …… 31
省エネアシストの実績を見る ………… 33
電力量を電気代に換算して見る …… 34
換算用の電気代を設定する …………… 34
電気代に換算した電力量を見る ……… 36

こんなときは

運転を停止／開始する ……………… 40
運転モードを切り替える …………… 41
自立運転（停電時に電気機器を使う方法）… 42
自立運転について ……………………… 42
故障かな？と思ったら ……………… 44
「電圧抑制」と表示されたら ………… 44
「温度抑制」と表示されたら ………… 45
「エラー報告」と表示されたら ……… 46
メッセージ／メッセージコード一覧 …… 47
パワーコンディショナを緊急停止する … 49
パワーコンディショナを再起動する … 50
停電したときは ……………………… 51
日時の設定を変更するときは ……… 52
お手入れのしかた …………………… 54
不具合発生時のお願い ……………… 55

索引……………………………… 56

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
各種の設定をする
発電の実績を見る・設定する
こんなときは
索引

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。また、ここに示した注意事項は危害・損害の程度によって以下のような表示と記号で区分されています。いずれも安全に関する重大な内容ですので必ずお守りください。

警 告	人が死亡または重傷を負う恐れがあります。
	人がけがをしたり物的損害を受けたりする場合があります。 ※物的損害とは、例えば家屋、家財および飼育動物に与える損害のことを意味します。

警 告

 禁止	以下の場合はすぐにパワーコンディショナの運転を停止してお買い上げの販売店にご連絡ください。 停止後は、パワーコンディショナや太陽電池モジュールに触れないでください。 ・ 煙やにおいが出たり、変な音がする場合 ・ 太陽電池モジュールが破損や落下した場合
 分解禁止	パワーコンディショナやリモコンなどを分解・改造しないでください。 万一の場合、感電や火災が起こるおそれがあります。
 禁止	落雷のおそれがある場合は、パワーコンディショナに触れないでください。
 禁止	パワーコンディショナは高温になる場合があります。操作ボタン以外は触れないでください。 特に上部は高温になりますので、触れないようにお願いします。
 禁止	パワーコンディショナの近くに蒸気、油煙などを出す機器を置かないでください。
 禁止	パワーコンディショナの近くで薬剤を散布しないでください。
 禁止	自立運転用コンセントとご家庭内のコンセントを延長ケーブルなどで接続しないでください。 また、自立運転用コンセントと自立運転用コンセントも同様に接続しないでください。
 禁止	必要なとき以外は、自立運転用コンセントに電気機器を接続しないでください。
 禁止	自立運転用コンセントには、電源が切れると生命や財産に損害を与えるおそれのある機器（医療機器やパソコンなど）や炊飯器、電子レンジなどの調理器具は接続しないでください。

⚠注意

指示に従う	パワーコンディショナは直接日光の当たらない、涼しい場所に設置してください。
禁止	パワーコンディショナの上下 20cm 以内に物を置かないでください。
禁止	パワーコンディショナは高温になる場合がありますので触れないでください。
禁止	パワーコンディショナやリモコンの上に物を置いたり、乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
禁止	パワーコンディショナを水洗いしないでください。
禁止	パワーコンディショナやリモコンをアルコールやシンナーなどの溶剤で拭かないでください。
禁止	太陽電池モジュールの上に物を置いたり、乗ったりしないでください。

概要／機能

太陽光発電の概要

太陽電池モジュール
太陽からの日射を受けて
発電します。

センサーユニット
（オプション）
リモコンに表示する消費量を
計量します。

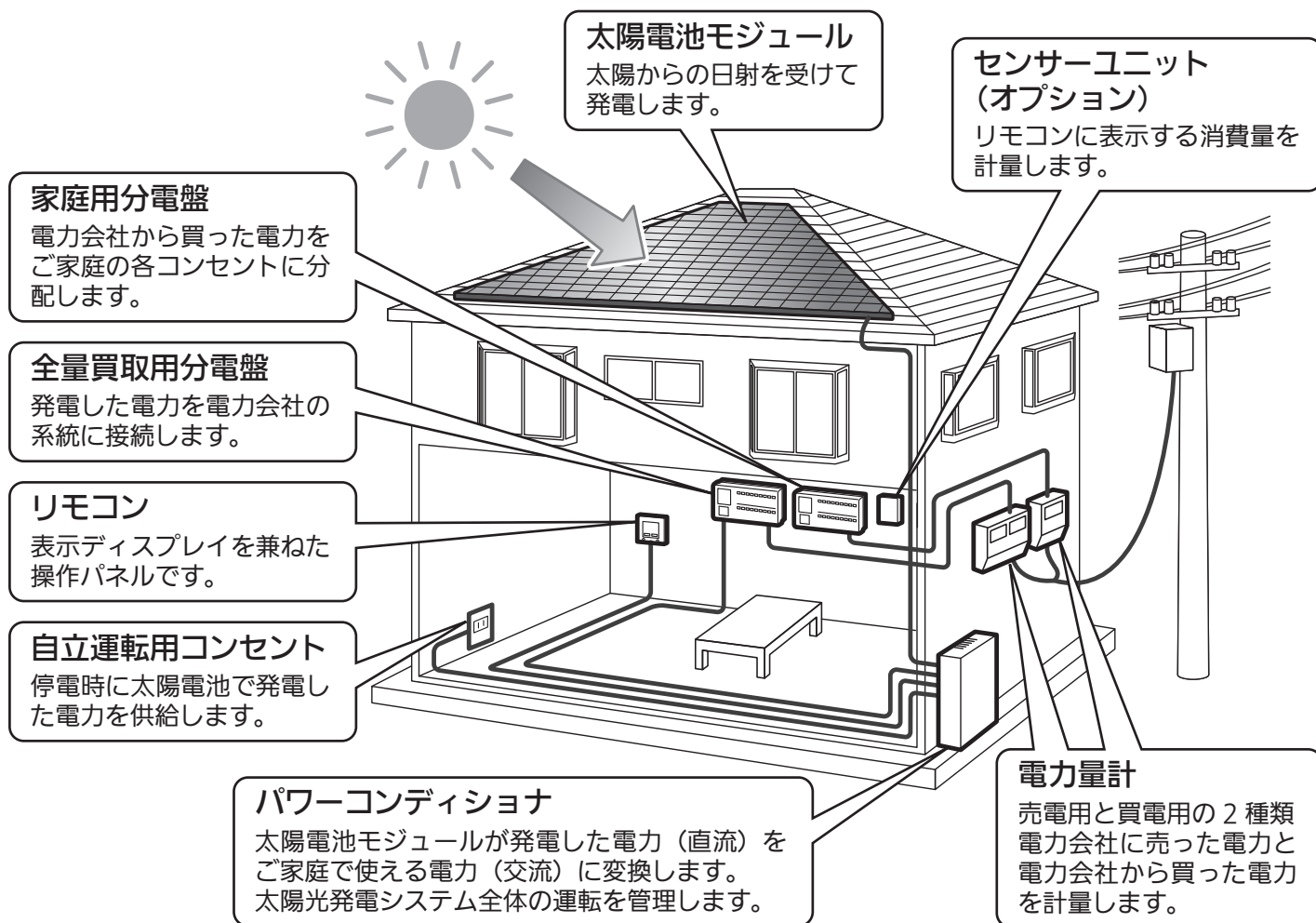
家庭用分電盤
電力会社から買った電力を
ご家庭の各コンセントに分
配します。

全量買取用分電盤
発電した電力を電力会社の
系統に接続します。

リモコン
表示ディスプレイを兼ねた
操作パネルです。

自立運転用コンセント
停電時に太陽電池で発電し
た電力を供給します。

パワーコンディショナ
太陽電池モジュールが発電した電力（直流）を
ご家庭で使える電力（交流）に変換します。
太陽光発電システム全体の運転を管理します。

電力量計
売電用と買電用の 2 種類
電力会社に売った電力と
電力会社から買った電力
を計量します。

メモ

- 電力量計には有効期限があり、定期的に交換が必要です。地域によっては売電電力量計の交換費用がお客様負担となる場合があります。電力会社にお問い合わせください。
  電力量計とセンサーユニット（オプション）の計量値は製品ごとの計測精度の違いにより、表示が異なる場合があります。
- 太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、リモコン、ケーブルなどの機器を同じ製品でシステム構成しても、設置条件や各機器の個体差により発電量に若干のばらつきがあります。従って総発電量にも若干の差が出ることをあらかじめご了承ください。

便利な機能

この製品には、太陽光発電をより便利に楽しく活用するためのさまざまな機能があります。

『ディスプレイ』▶カラー液晶で見やすい！！（☞ 10 ～ 11 ページ）

さまざまな情報をカラーで表示します。

『省エネアシスト機能』▶しっかり省エネをお手伝い！！（☞ 31 ～ 33 ページ）

目標消費電力量を設定して、どれだけ省エネしたかを確認できます。

『電気代換算機能』▶電気代がひと目で分かる！！（☞ 34 ～ 37 ページ）

ご家庭で消費した電力量を電気料金に換算して確認できます。

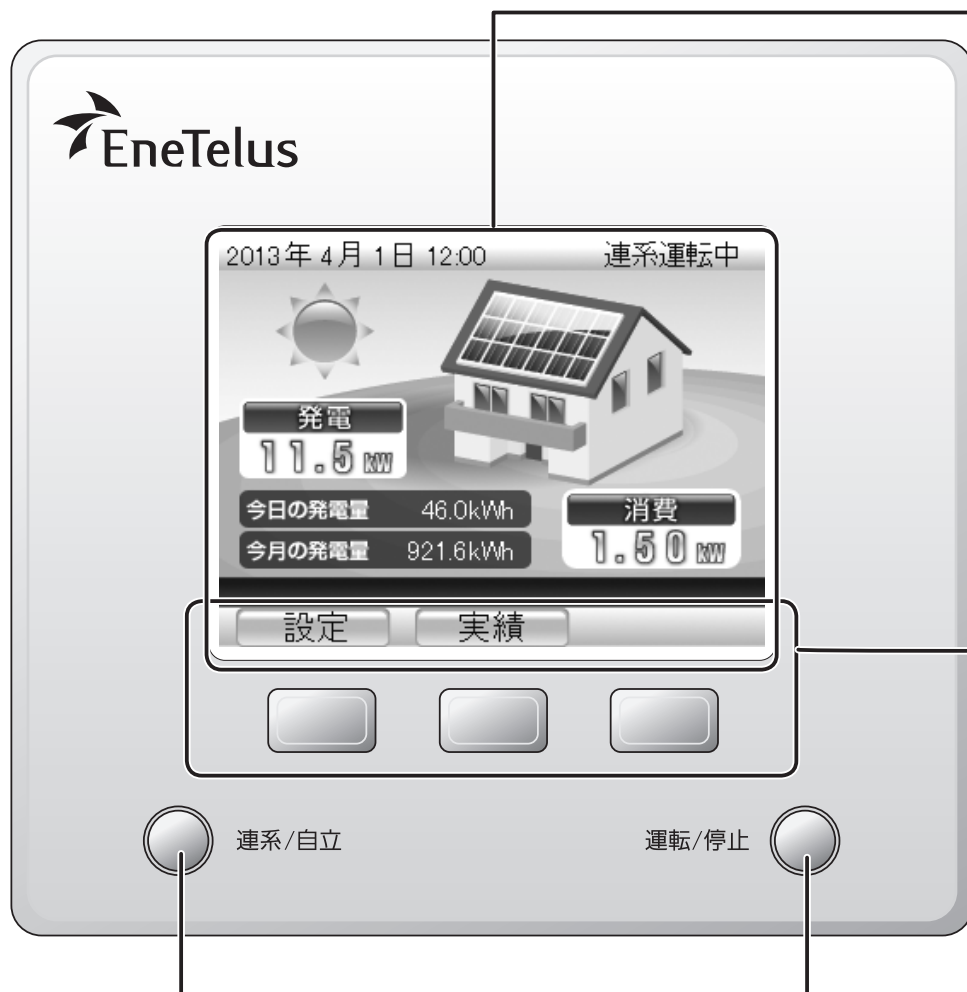
各部の名前とはたらき

各部の名前 …… 10
リモコン …… 10
パワーコンディショナ …… 13
リモコンの使いかた …… 14
トップ画面の見かた …… 14
トップ画面での操作のしかた …… 16
運転モードについて …… 17

各部の名前

リモコン

リモコンはディスプレイ表示とパワーコンディショナのコントローラを兼ねています。
発電の実績を見たり、各種設定など、おもな操作はリモコンで行います。

前面

連系 / 自立ボタン（☞ 41 ページ）
パワーコンディショナの運転モード（連系運転／自立運転）を切り替えます。

運転状態表示ランプ
ボタンが点灯（点滅）して、パワーコンディショナの運転状態を示します。

緑色点灯 ：連系運転中
赤色点灯 ：自立運転中
赤色点滅 ：点検中
消　灯 ：自動停止中／手動停止中／準備中

ディスプレイ
運転状態や発電状態などを表示します。また、過去の発電量の実績なども表示します。
（☞ 14 ～ 15 ページ）

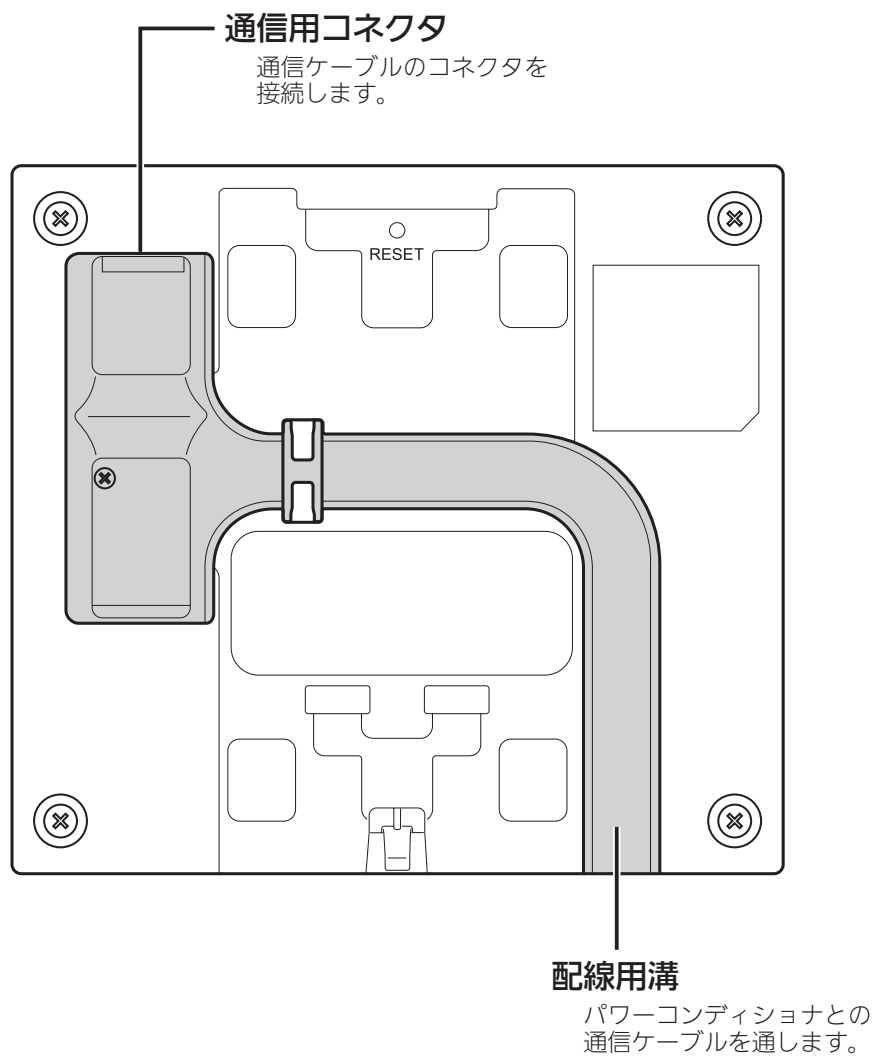
ボタン名表示エリア（ 設定 実績 ）
下部の操作ボタンで実行できる機能名を表示します。（画面によって表示が変わります）
下部の操作ボタンを押すと、機能を実行できます。（画面を押しても動作しません）

操作ボタン（ ）
ボタン名表示エリアに表示されている機能を実行します。
本書では、ボタン名と合わせて 設定 や 実績 のように表記しています。
※ディスプレイ表示が消えているときに、いずれかの操作ボタンを押すと、トップ画面を表示します。（☞ 16 ページ ）

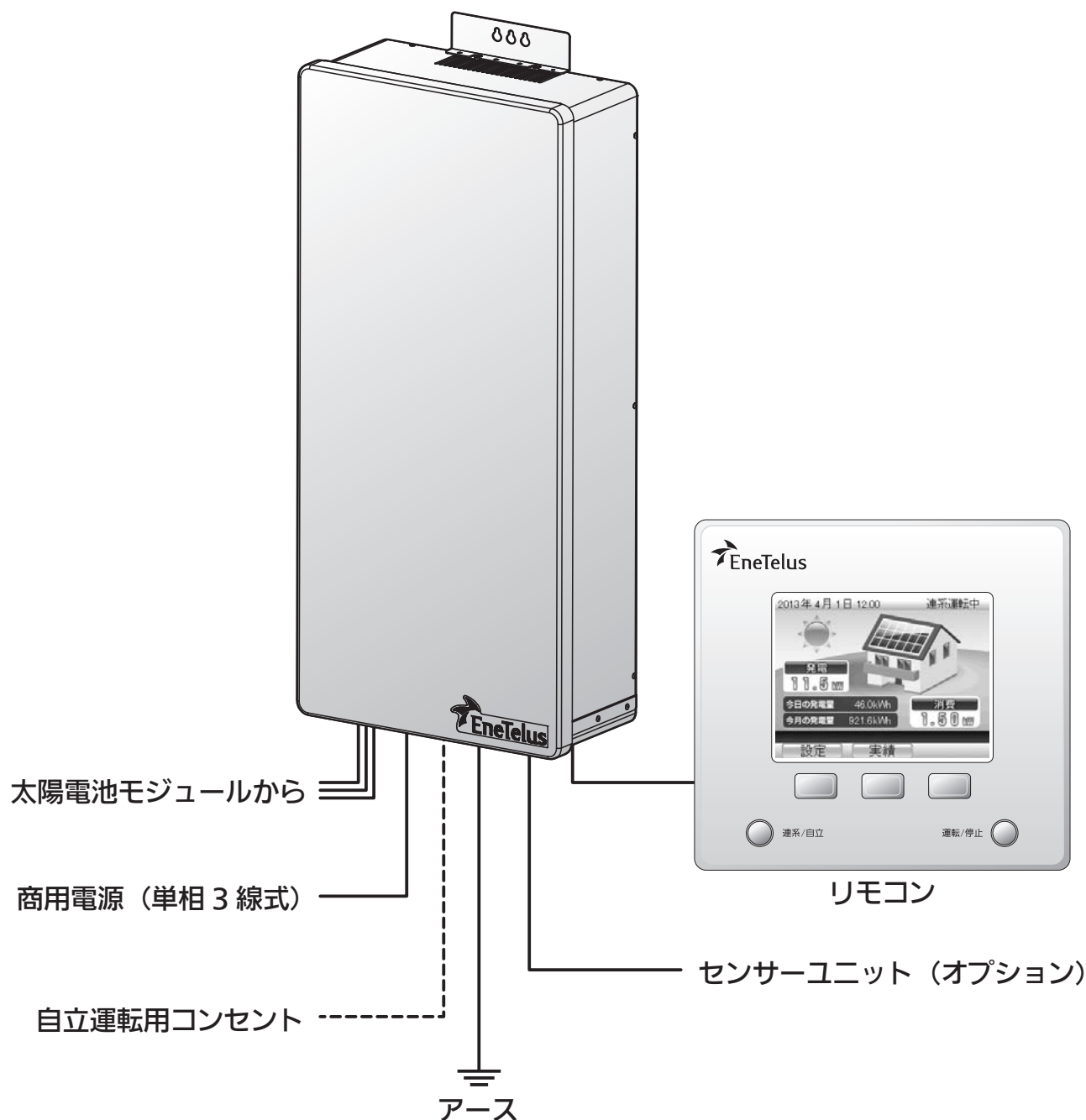
運転 / 停止ボタン（☞ 40 ページ）
パワーコンディショナの運転状態（運転／停止）を切り替えます。

発電状態表示ランプ
ボタンが点灯（点滅）して、パワーコンディショナの発電状態を示します。
緑色点灯 ：発電状態
消　灯 ：発電状態以外の状態

背面

通信用コネクタ
通信ケーブルのコネクタを
接続します。
RESET
配線用溝
パワーコンディショナとの
通信ケーブルを通します。

パワーコンディショナ

パワーコンディショナは、太陽電池モジュールで発電された直流電気を交流に変換します。また、太陽光発電システム全体の運転を管理します。

（下図は一例）

リモコンの使いかた

トップ画面の見かた

トップ画面は、運転時に表示されるこの製品の基本画面です。
トップ画面には現在の発電電力、ご家庭で消費している電力などが表示されるため、製品の状態がひと目で確認できます。

現在日時
現在の年月日・時刻を表示します。（☞ 52 ページ）

抑制状態表示
パワーコンディショナの出力抑制状態を「温度抑制」「電圧抑制」「温度・電圧抑制」の３パターンでメッセージ表示します。（☞ 44 ～ 45 ページ）
正常運転中には表示されません。

メ モ

- この製品は計量法の対象製品ではありません。発電電力、消費電力などの各電力値はあくまで目安です。電力量計や電力会社からの請求書の値と異なる場合があります。
- 現在日時の表示が実際の日時と異なっているときは、正しい日時に設定してください。（☞ 52 ～ 53 ページ）

■電力と電力量

電力とは、ある瞬間の電流の仕事量です。（単位は「kW」）
電力量とは、ある時間内の電力の総和です。（単位は「kWh」）
<例> 3kW の電力を 2 時間使い続けた場合の消費電力量は 6kWh になります。

運転状態

パワーコンディショナの運転状態を表示します。（☞ 17 ページ）

発電 11.5 kW **発電電力**

現在発電している電力を表示します。

消費 1.50 kW **消費電力**

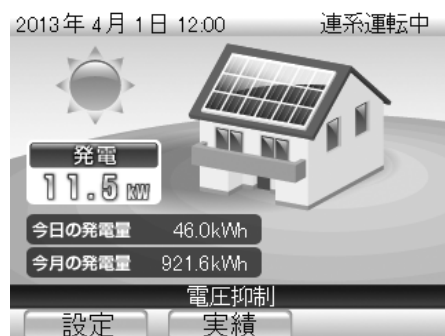
現在ご家庭で消費している電力を表示します。
（センサーユニット（オプション）接続時のみ表示します。）

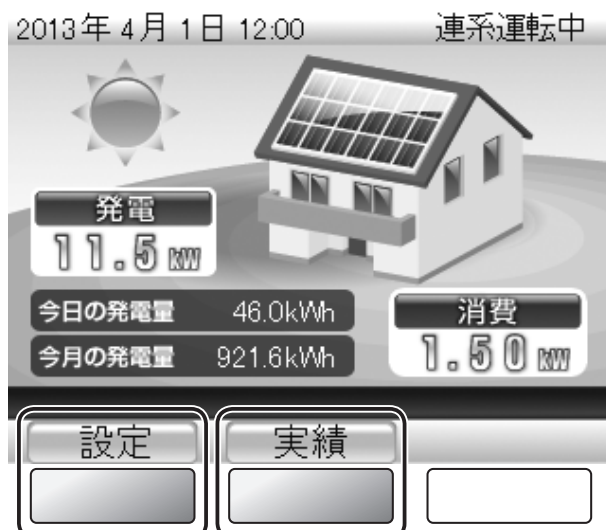
今日の発電量 46.0kWh **今日の発電量**

今日発電した電力量の実績を表示します。

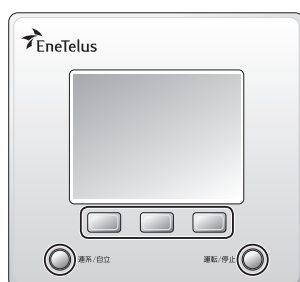
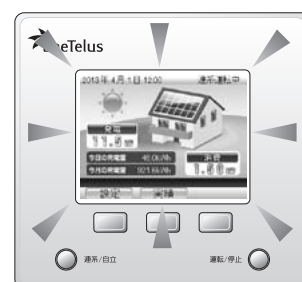
今月の発電量 921.6kWh **今月の発電量**

今月発電した電力量の実績を表示します。

※センサーユニットを接続していないときは、以下のように消費電力は表示されません。
トップ画面では、その他の表示は同じです。

トップ画面での操作のしかた

リモコンでは、おもに発電状態や履歴の確認、各種設定の変更を行います。
おもな操作はトップ画面から実行できます。

各種の設定をする
（☞ 20、22、31、34、52 ページ）
ディスプレイの明るさと点灯時間を設定するなど、この製品を使いやすくするための設定をします。

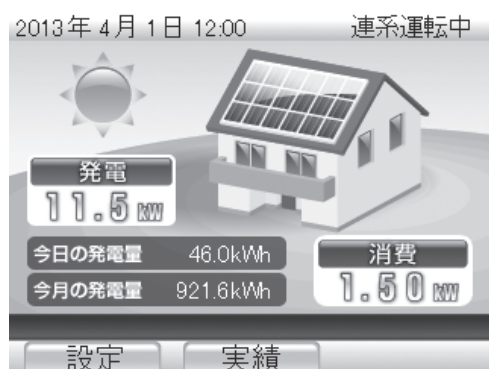
実績を確認する
（☞ 27、29、30、33、36 ページ）
過去の発電量、消費量などを確認できます。

ディスプレイ表示が消えているときは

操作ボタンまたは連系 / 自立ボタンを押すことで、トップ画面を表示できます。

運転モードについて

運転モードは、通常使用時の「連系運転モード」と停電時など非常用の「自立運転モード」があります。

■連系運転モード

連系運転モードでは発電や停止を自動で行い、発電した電力を電力会社に売る動作を行います。
特に操作は必要ありません。
連系運転モード中の運転状態は以下のように表示されます。

連系運転中

日中、太陽光発電が行われているときはこの表示になります。

自動停止中

2013年 4月 1日 12:00 　自動停止中

夜間など、日照がなく発電を停止しているときはこの表示になります。

連系準備中

2013年 4月 1日 12:00 　連系準備中

運転の開始または停止を準備しているときはこの表示になります。

連系手動停止中

2013年 4月 1日 12:00 　連系手動停止中

連系運転を手動で停止したとき（☞ 43 ページ）はこの表示になります。

■自立運転モード

停電時は非常用の「自立運転モード」に切り替えることで、自立運転用コンセントから電力を使用できます。モードの切り替えは手動で停止します。(☞ 40 ～ 43 ページ)

自動運転中

2013年 4月 1日 12:00 　自立運転中

太陽光発電した電気を自立運転用のコンセントに供給しているときはこの表示になります。

自立手動停止中

2013年 4月 1日 12:00 　自立手動停止中

自立運転を手動で停止したとき（☞ 43 ページ）はこの表示になります。

自立準備中

2013年 4月 1日 12:00 　自立準備中

自立運転の開始または停止を準備しているときはこの表示になります。

メモ

- 連系運転モードでは、特に運転の停止または開始の操作は必要ありません。（☞ 40 ページ）
- 自立運転モードから連系運転モードへ、連系運転モードから自立運転モードへは、手動で切り替えます。（☞ 40 ～ 43 ページ）

各種の設定をする

ディスプレイの明るさと点灯時間を設定する …… 20
発電開始日を設定する ………………………………… 22

ディスプレイの明るさと点灯時間を設定する

ディスプレイ画面は、お好みに合わせて明るさを設定できます。
また、ディスプレイには省エネのため、一定時間リモコンを操作しないと自動的に画面が消える機能があります。画面を消すまでの時間も、お好みで使いやすい長さに設定できます。

1 トップ画面で [設定] を押す

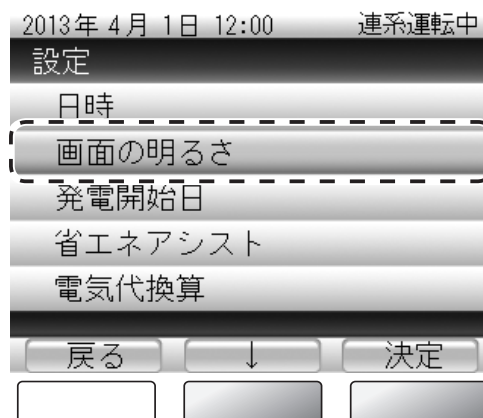
設定項目の選択画面が表示されます。

2 [↓] で「画面の明るさ」を選び、

[決定] を押す

画面の明るさ設定の画面が表示されます。

3 [値変更] で画面の明るさを選び、

[決定] を押す

[値変更] を押すたびに、画面の明るさが5段階に変わります。
初期設定では明るさ 2 に設定されています。

[決定] を押すと明るさが設定され、画面点灯時間設定の画面が表示されます。

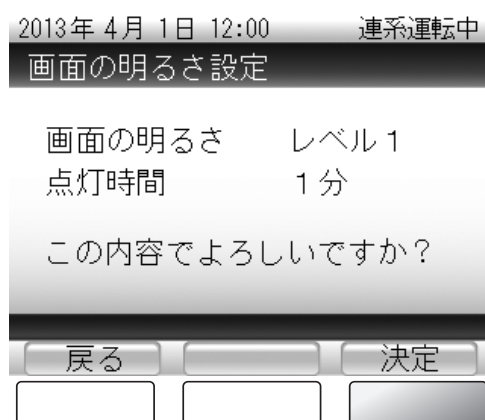
4 [値変更]で点灯時間を選び、[決定]押す

[決定]を押すと点灯時間が設定され、確認画面が表示されます。

- 初期設定では「1 分」に設定されています。

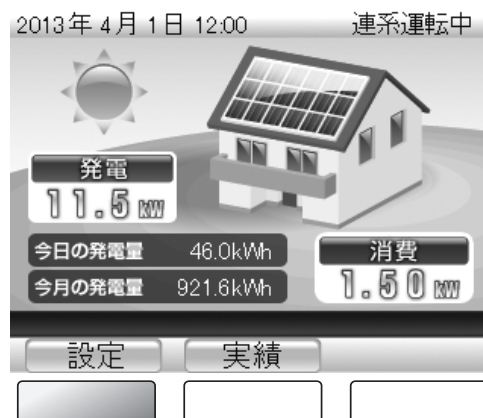
5 画面の内容を確認して [決定] を押す

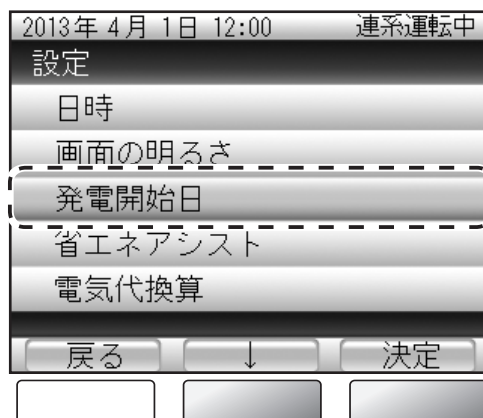
設定した明るさや点灯時間が反映された設定項目の選択画面に戻ります。

- 設定を変更するときは[戻る]で明るさ設定の画面に戻ります。

発電開始日を設定する

以下の操作で、発電開始日を設定することができます。
初期設定では、発電開始日は設定されていません。
（設置工事の際に設定されている場合があります）

1 トップ画面で［設定］を押す

設定項目の選択画面が表示されます。

2 ［↓］で「発電開始日」を選び、［決定］を押す

発電開始日設定の画面が表示されます。

3 発電開始日を入力する

- ［値変更］：カーソルで選択されている数字を変更します。（0～9）
- ［→］：カーソルを次の桁または項目に移動します。

4 発電開始日を入力したら →で「開始日決定」を選び、決定を押す

確認画面が表示されます。

5 画面の内容を確認して決定を押す

発電開始日が設定され、設定項目の選択画面に戻ります。

- 発電開始日を変更するときは、戻るで開始日の入力画面に戻ります。

発電の実績を見る・設定する

実績の確認 ………………………………………… 26

実績を見る ………………………………………… 27

発電量／消費量の実績を見る ………………… 27

環境貢献の実績を見る ……………………… 29

発電開始からの実績を見る ………………… 30

省エネアシストの使いかた ……………………… 31

省エネアシストの目標を設定する …………… 31

省エネアシストの実績を見る ……………… 33

電力量を電気代に換算して見る ………………… 34

換算用の電気代を設定する ………………… 34

電気代に換算した電力量を見る …………… 36

実績の確認

発電量などの実績を確認できます。
実績には以下の種類があり、表示期間を選んだり、グラフと数値を切り替えるなど、いろいろな形で確認できます。

発電量／消費量：☞ 27 ～ 28 ページ

過去に発電した電力量と、消費した電力量の確認

（数値表示への切り替えもできます）

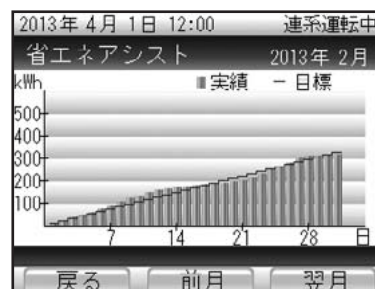
環境貢献：☞ 29 ページ

太陽光発電によって、どれだけ CO_2（二酸化炭素）排出量を削減できたかの確認

発電開始日から：☞ 30 ページ

この製品で発電を開始してからの積算発電量や積算消費量などの確認

省エネアシスト：☞ 31 ～ 33 ページ

月ごとの省エネ率の確認

電気代換算：☞ 34 ～ 37 ページ

消費量を電気代に換算した場合の確認

実績を見る

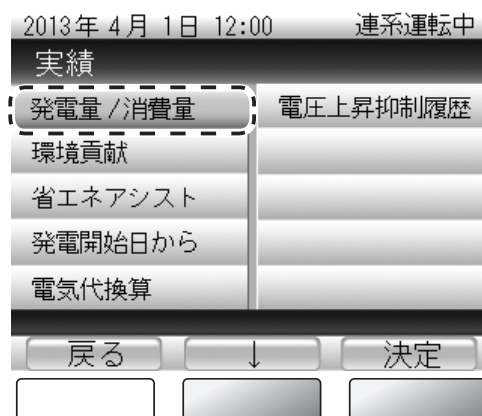
発電量／消費量の実績を見る

以下の操作で発電量および消費量の実績を確認できます。
- 消費量を表示するには、センサーユニット（オプション）を接続してください。

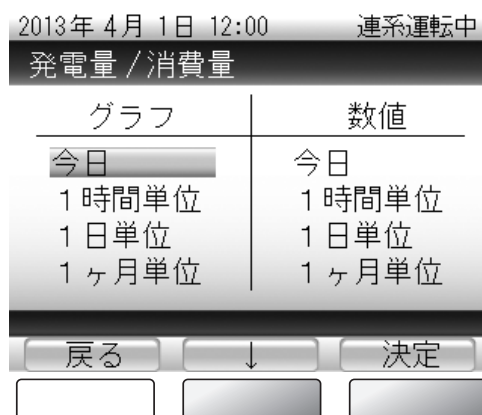
1 トップ画面で 実績 を押す

実績種別の選択画面が表示されます。

2 ↓ で「発電量 / 消費量」を選び、決定 を押す

表示したい時間単位の選択画面が表示されます。

3 ↓ で表示したい時間単位を選び、決定 を押す

選択した期間の実績が表示されます。
表示できる期間は単位時間により異なります。

期間	表示内容
今日	過去 35 日分
1 時間単位	過去 35 日分 （36 日以前のデータは「1 日単位」のデータに書き替えられます）
1 日単位	過去 13 ヶ月分 （14 ヶ月以前のデータは「1 ヶ月単位」のデータに書き替えられます）
1 ヶ月単位	過去 10 年分 （11 年以前のデータは消去されます）

4 実績を確認する

<画面例>「今日」の実績です。
「1 時間単位」「1 日単位」「1 ヶ月単位」の場合でも、操作は共通です。

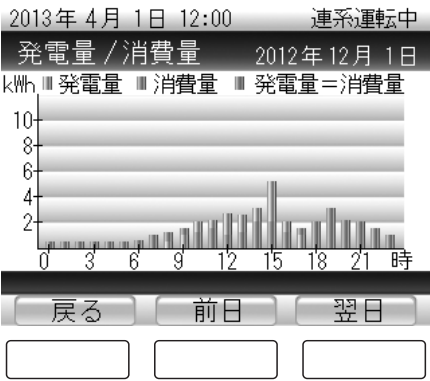
【グラフ表示】

【数値表示】

2013年 4月 1日 12:00 連系運転中
発電量／消費量 2013年 3月 1日

	発電量 (kWh)	消費量 (kWh)
１２時	3.4	2.2
１３時	4.6	1.3
１４時	5.2	1.0
１５時	5.0	0.8
日間	29.1	14.2

戻る　前　次

画面の見かた（グラフ表示）

≪電力グラフ≫
発電量／消費量ともに棒グラフで表示します。
発電量と消費量のグラフを同時に表示するため、量の少ない方を手前、多い方を奥に表示しています。
青：発電量
赤：消費量
紫：発電量＝消費量

ボタンのはたらき（グラフ表示）

戻る：表示したい時間単位の選択画面に戻ります。

前日：前の期間（前日）の実績に表示を切り替えます。
1 時間単位の実績＝「前日」
1 日単位の実績　＝「前月」
1 ヶ月単位の実績＝「前年」
と表示が切り替わります。

翌日：次の期間（翌日）の実績に表示を切り替えます。
1 時間単位の実績＝「翌日」
1 日単位の実績　＝「翌月」
1 ヶ月単位の実績＝「翌年」
と表示が切り替わります。

画面の見かた（数値表示）

≪発電量≫
期間あたりの発電量です。
≪消費量≫
期間あたりの電力消費量です。

ボタンのはたらき（数値表示）

戻る：表示したい時間単位の選択画面に戻ります。

前：前の期間の実績に表示を切り替えます。

次：次の期間の実績に表示を切り替えます。

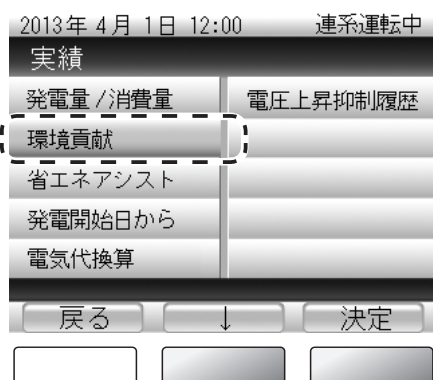
環境貢献の実績を見る

発電量をもとに換算した CO_2（二酸化炭素）削減量の実績を確認できます。
同時に、CO_2 削減量を樹木の本数や石油消費の節約量に換算した環境貢献の実績も確認できます。

1 トップ画面で [実績] を押す

実績種別の選択画面が表示されます。

2 [↓] で「環境貢献」を選び、[決定] を押す

環境貢献の画面が表示されます。

3 実績を確認する

画面の見かた

≪ CO_2 削減量≫
石油火力発電と太陽光発電を比較した場合の、排出 CO_2 の削減量です。

≪成木換算≫
CO_2 削減量の値が、樹木何本分の CO_2 吸収量に相当するかを表示します。

≪石油換算≫
CO_2 削減量の値から、火力発電で使用する石油をどれだけ節約できたかを求めたものです。

ボタンのはたらき

- [戻る]：実績種別の選択画面に戻ります。
- [前年]：前の期間（前年）の実績に表示を切り替えます。
- [翌年]：次の期間（翌年）の実績に表示を切り替えます。

メモ

- CO_2 削減量、成木換算値、石油換算値の計算式は以下のとおりです。
  CO_2 削減量　:「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.31kg-CO_2/kWh」
  成木換算値　:「CO_2 削減量（kg-CO_2）」/「14（Kg-CO_2/ 本）」
  石油換算値　:「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.23（l/kWh）」
  ※ CO_2 削減量は上記の計算にもとづく目安です。

発電開始からの実績を見る

本製品で発電を開始してから現在までに積算された発電量や消費量などを確認できます。
※発電開始とは電力会社と系統連系が開始された時点です。

- 消費量を表示するには、センサーユニット（オプション）を接続してください。

1 トップ画面で［実績］を押す

実績種別の選択画面が表示されます。

2 ［↓］で「発電開始日から」を選び、［決定］を押す

発電開始からの実績画面が表示されます。

2013年 4月 1日 12:00　連系運転中
実績
発電量／消費量
電圧上昇抑制履歴
環境貢献
省エネアシスト
発電開始日から
電気代換算
戻る　↓　決定

3 実績を確認する

画面の見かた

≪発電量≫
発電開始からの積算発電量です。
≪消費量≫
発電開始からの積算消費量です。

ボタンのはたらき

［戻る］：実績種別の選択画面に戻ります。

省エネアシストの使いかた

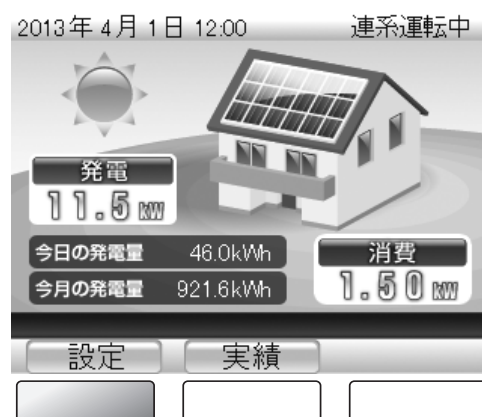
1ヶ月の省エネ（節電）目標消費量に対して、どれだけ達成できるかを設定し、確認できます。
初期設定では、前月の消費量（「前月消費量」）が目標消費量として設定されています。
省エネアシストの目標値を手動で設定するときは、以下の操作で設定してください。

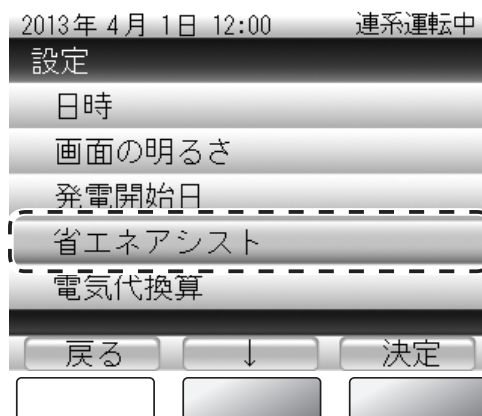
- 省エネアシストの目標を設定するときは、センサーユニット（オプション）を接続してください。

省エネアシストの目標を設定する

目標消費量を設定します。

1 トップ画面で [設定] を押す

設定項目の選択画面が表示されます。

2 [↓] で「省エネアシスト」を選び、[決定] を押す

目標消費量の入力画面が表示されます。

3 目標消費量を入力する

- [値変更]：カーソルで選択されている数値を変更します。（0～9）
- [→]：カーソルを次の桁または項目に移動します。

4 目標消費量を入力したら

→ で「目標値決定」を選ぶ

5 画面の内容を確認したら

決定 を押す

目標消費量が設定され、省エネアシスト目標設定の画面に戻ります。

- 数値を変更するときは、 戻る で目標消費量の入力画面に戻ります。

省エネアシストの実績を見る

1ヶ月の省エネ(節電)目標消費量に対して、どれだけ達成できるかを設定し、確認できます。初期設定では、前月の消費量(「前月消費量」)が目標消費量として設定されています。

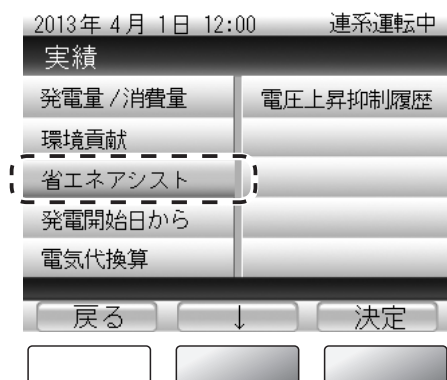
- 消費量を表示するには、センサーユニット(オプション)を接続してください。

1 トップ画面で [実績] を押す

実績種別の選択画面が表示されます。

2 [↓] で「省エネアシスト」を選び、[決定] を押す

省エネアシスト画面が表示されます。

2013年 4月 1日 12:00 連系運転中
実績
発電量/消費量 | 電圧上昇抑制履歴
環境貢献
省エネアシスト
発電開始日から
電気代換算
戻る ↓ 決定

3 省エネアシストを確認する

画面の見かた

≪電力グラフ≫
目標値を折れ線グラフ、実績値を棒グラフで表示します。

≪目標値≫
設定した目標消費量(☞31～32ページ)です。

≪実績値≫
その月で実際に消費した電力です。

ボタンのはたらき

[戻る]:実績種別の選択画面に戻ります。
[前月]:前月の表示に切り替えます。
[翌月]:翌月の表示に切り替えます。

電力量を電気代に換算して見る

発電量・消費量を電気代に換算して確認することができます。
確認するには、あらかじめ以下の操作で換算用の電気代を設定しておく必要があります。
（初期設定では、換算用の電気代は設定されていません）

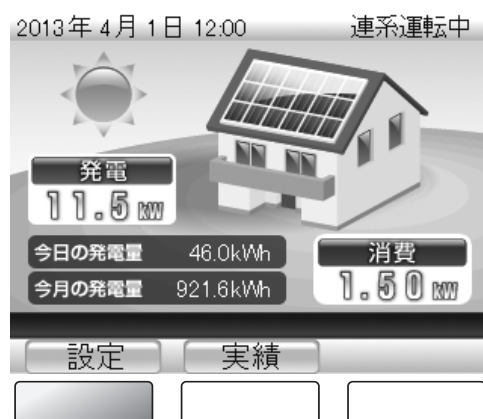
※確認できる電気代の値は目安です。以下の電気代換算値設定にもとづいて計算するため、実際の電気代とは異なります。

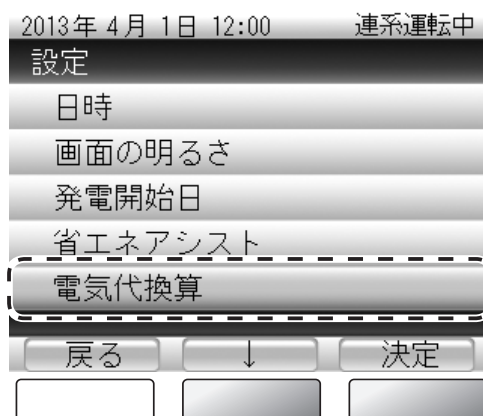
※設定を変更すると、当月１日から現在までの電気代換算データを再計算します。当月中であれば何度でも再計算されます。ただし、前月以前の電気代換算データは再計算されませんのでご注意ください。

換算用の電気代を設定する

ご利用の電力会社の料金に合わせて設定してください。

1 トップ画面で［設定］を押す

設定項目の選択画面が表示されます。

2 ［↓］で「電気代換算」を選び、［決定］を押す

電気代換算値設定の画面が表示されます。

3 換算値を入力する

- ［値変更］：カーソルで選択されている数値を変更します。買電料金を４つの時間に分けて設定することができます。
- ［次項目］：カーソルを次の桁または項目に移動します。

4 換算値を入力したら

[次項目]で「換算値決定」を選ぶ

5 画面の内容を確認したら

[決定]を押す

換算値が設定され、設定項目の選択画面に戻ります。

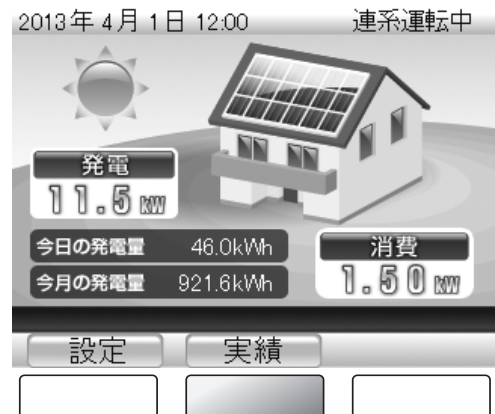
- 数値を変更するときは、[戻る]で換算値の入力画面に戻ります。

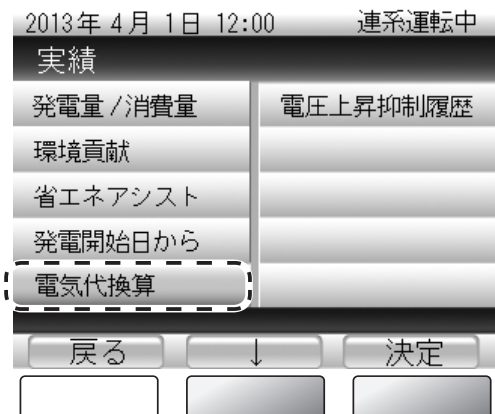
電気代に換算した電力量を見る

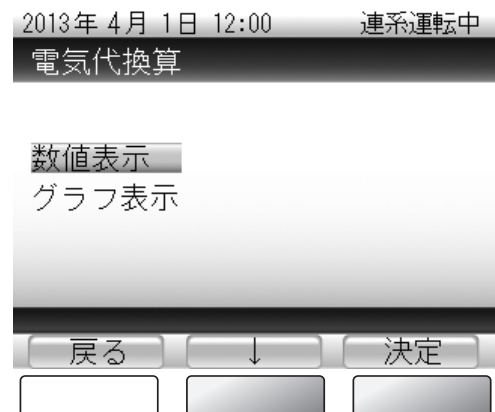
電気代に換算した発電量・消費量を数値表示またはグラフ表示で確認できます。
数値表示は 4 ヶ月ごとの表示、グラフ表示は 1 年ごとの表示になります。
電気代の値は目安です。

- 消費量を表示するには、センサーユニット（オプション）を接続してください。

1 トップ画面で 実績 を押す

実績種別の選択画面が表示されます。

2 ↓ で「電気代換算」を選び、決定 を押す

電気代換算の表示形式選択画面が表示されます。

3 ↓ で表示形式を選び、決定 を押す

電気代換算画面が表示されます。

4 電気代換算を確認する

【数値表示】

2013年 4月 1日 12:00　連系運転中

電気代換算　2012年

	発電量（円）	消費量（円）
９月	11000	6300
１０月	11500	7500
１１月	12000	7200
１２月	9000	6900
年間	126000	81600

戻る　前　次

画面の見かた

≪発電量換算≫

発電量を電気代に換算した値です。

≪消費量換算≫

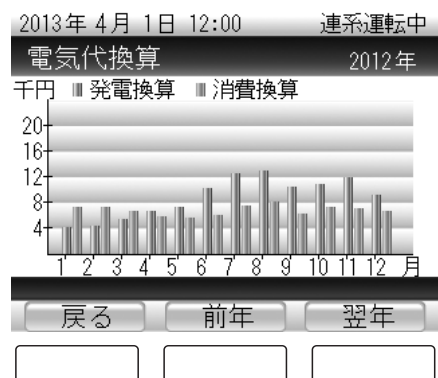
消費量を電気代に換算した値です。

ボタンのはたらき

戻る ：電気代換算の表示形式選択画面に戻ります。

前 ：前の期間（4ヶ月前）の実績に表示を切り替えます。

次 ：次の期間（4ヶ月後）の実績に表示を切り替えます。

【グラフ表示】

画面の見かた

≪電気代換算グラフ≫

換算した電気代を棒グラフで表示します。

ボタンのはたらき

戻る ：電気代換算の表示形式選択画面に戻ります。

前年 ：前の期間（前年）の実績に表示を切り替えます。

翌年 ：次の期間（翌年）の実績に表示を切り替えます。

メモ

- 以下は、電気代換算の値の計算式です。
  発電量（円）：発電量（kWh）×売り単価（円 /kWh）
  消費量（円）：基本料金の日割り金額（円）＋消費量（kWh）×買い単価（円 /kWh）

こんなときは

運転を停止／開始する …………………………… 40

運転モードを切り替える ………………………… 41

自立運転（停電時に電気機器を使う方法）………… 42

自立運転について ………………………………………… 42

故障かな？と思ったら …………………………… 44

「電圧抑制」と表示されたら …………………………… 44

「温度抑制」と表示されたら …………………………… 45

「エラー報告」と表示されたら ………………………… 46

メッセージ／メッセージコード一覧 ………………… 47

パワーコンディショナを緊急停止する …………… 49

パワーコンディショナを再起動する ……………… 50

停電したときは …………………………………… 51

日時の設定を変更するときは …………………… 52

お手入れのしかた ………………………………… 54

不具合発生時のお願い …………………………… 55

運転を停止／開始する

点検などで一時的に運転を停止したいときは、手動で運転の停止／開始ができます。
また、自立運転モード（☞ 41 ページ）も手動で運転を開始／停止することができます。
以下の操作を行ってください。

1 運転 / 停止ボタンを押す

運転状態から停止させる場合は、ボタンを長押し（約 3 秒間）します。
停止状態から運転開始させる場合は、ボタンを 1 回押しします。
現在の運転／停止状態は画面右上の「運転状態表示欄」で確認できます。
※停止や運転開始にはボタンを押してから数秒かかります。

運転状態表示欄

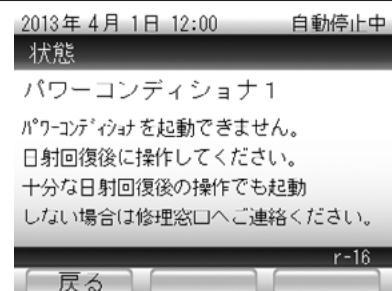
運転 / 停止ボタン

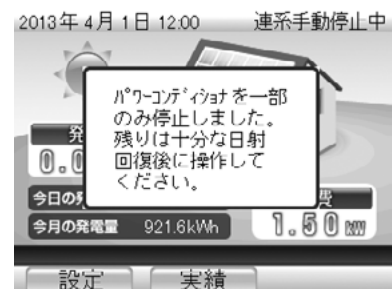
運転状態

停止状態

運転 / 停止ボタンによる運転操作

以下の場合には操作は無効になります。

- 夜間や日射不足のとき。
- パワーコンディショナが複数台のとき、どれか 1 台でも日射不足のとき。（右の画面）

運転 / 停止ボタンによる停止操作

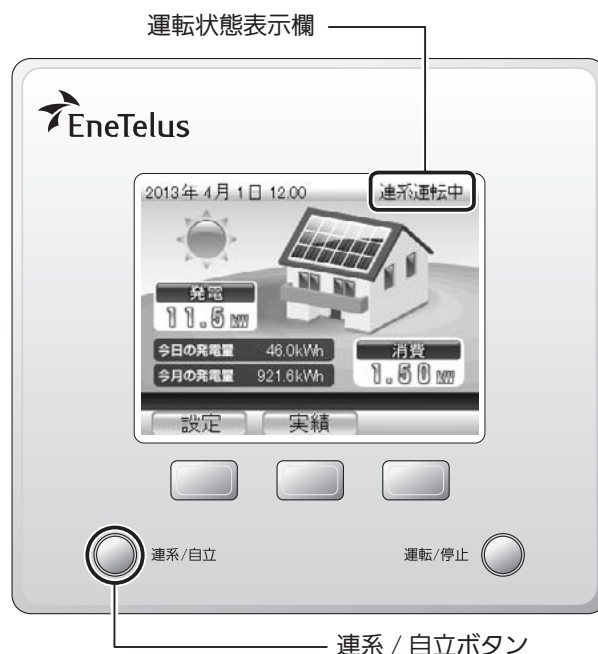
- 夜間や日射不足のときは、上記と同様に操作は無効になります。
- 万が一パワーコンディショナの一部が運転中で、残りが日射不足のときは、停止操作で運転中のパワーコンディショナが停止します。（右の画面）
  残りのパワーコンディショナが日射不足から回復した場合は、改めて別のメッセージコード（r-14）を表示します。（☞ 48 ページ）

メモ

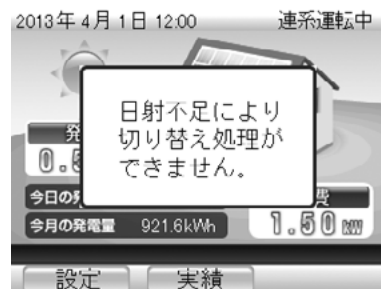
- 太陽光発電システムは、システムの不具合発生時、メンテナンス点検実施時以外は、運転を操作する必要はありません。

運転モードを切り替える

運転モードを自立運転に切り替えたり、連系運転に戻すことができます。
自立運転用コンセントは、自立運転モードに切り替えたあとに使うことができます。

1 連系 / 自立ボタンを押す

ボタンを 5 秒間押し続けると、連系状態と自立状態が入れ替わります。
現在の連系／自立状態は画面右上の「運転状態表示欄」で確認できます。

以下の場合は連系 / 自立ボタンの操作は無効になります。

- 夜間や日射不足のとき
- パワーコンディショナが複数台のとき、どれか 1 台でも日射不足のとき。(右の画面)

<ご注意>

- 停電が復旧したら、必ず連系運転モードに戻してください。

自立運転（停電時に電気機器を使う方法）

自立運転について

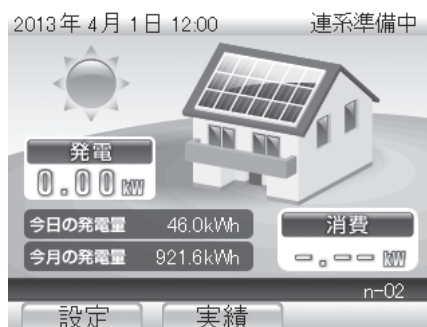
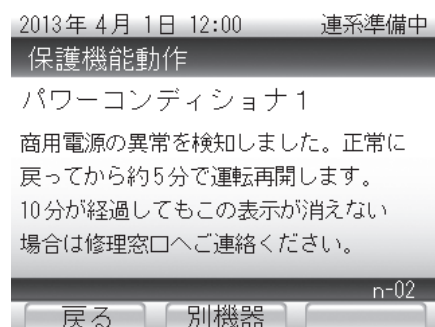
自立運転とは停電時に発電した電力を自立運転用コンセントに供給する機能です。
自立運転のご利用時は、以下の注意事項をよくご覧いただき、正しくお使いください。

＜自立運転利用上のご注意＞

- **停電が復旧したときは連系運転モードに戻してください。**
  自立運転は停電時の予備電源としてのみ使用してください。
  停電が復旧しても自動で連系運転モードには戻りませんので、運転モードの切り替え（☞ 41 ページ）を行ってください。
- **夜間、曇天、雨天時など太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。**
  自立運転用コンセントは、太陽電池モジュール発電が停止すると電力供給が無くなるため使用できません。
- **自立運転にて発電が停止した翌日は、手動で運転を開始してください。**
  自立運転にて停止した翌日は自立手動停止中となります。
- **日照の変化などで発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止する場合があります。**
  発電電力が自立運転用コンセントにつないだ機器の消費電力より小さくなると、パワーコンディショナは運転を停止します。
- **自立運転時の発電量および消費電力量は積算電力量に反映されません。**
  自立運転時の発電量と自立運転用コンセントで消費された電力は実績に残りません。
- **消費電力が大きい機器を使用しないでください。**
  自立運転用コンセントで使用できる電力は最大 1500 Wまでです。
  発電状況により使用できる電力が変動する場合がありますので、消費電力が小さな機器を使用してください。
- **自立運転時に発電した電力は専用コンセントのみに供給されます。**
  自立運転時での発電で余剰電力が発生しても電力会社への売電は行われません。

- **太陽電池の発電量は天候により変化します。曇っていたり、降雨があると発電量が大きく低下しますので、自立運転用コンセントに接続した機器は、突然停止しても安全性に問題がないことを確認してください。**
- **以下の機器は自立運転用コンセントに接続しないでください。**
  - 医療機器、灯油やガスを用いる暖房機器
  - 電池でバックアップされていないパソコンやワープロなどの情報機器
  - その他、突然停止すると生命や財産に損害を与える機器
- **自立運転する場合は、分電盤内の太陽光発電用ブレーカを「OFF」にしてください。**
- **連系運転中、自立運転用コンセントには機器を接続しないでください。**

1 保護機能動作画面で 戻る を押す

2013年 4月 1日 12:00　連系準備中
保護機能動作
パワーコンディショナ 1
商用電源の異常を検知しました。正常に
戻ってから約5分で運転再開します。
10分が経過してもこの表示が消えない
場合は修理窓口へご連絡ください。
n-02
戻る　別機器

停電のメッセージが表示されている場合は「戻る」ボタンを押し、トップ画面を表示させてから運転モードを切り替えてください。

2 トップ画面で連系 / 自立ボタンを 5 秒間押し続ける

運転状態表示欄に「自立手動停止中」と表示されます。

2013年 4月 1日 12:00　自立手動停止中

3 運転 / 停止ボタンを押す

運転状態表示欄に「自立準備中」と表示されたあと、「自立運転中」と表示されます。

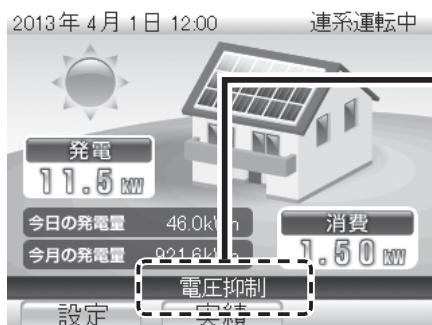
2013年 4月 1日 12:00　自立準備中

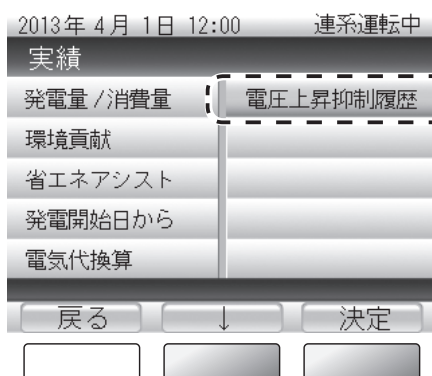
自立運転の開始または停止を準備しているときはこの表示になります。

太陽光発電した電気を自立運転用のコンセントに供給しているときはこの表示になります。

故障かな？と思ったら

「電圧抑制」と表示されたら

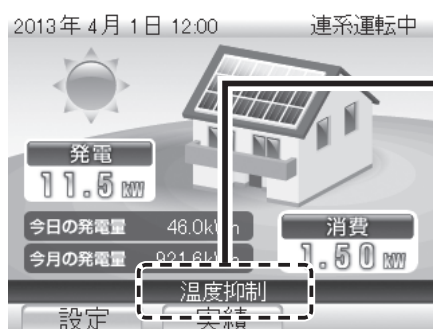
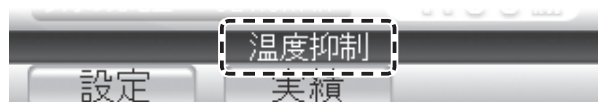
「電圧抑制」とリモコンに表示されたときは、パワーコンディショナが電圧の上昇を防ぐため、出力を一時的に抑えています。
通常はこの表示が出たとしても故障ではありません。電圧が正常に戻ると表示は消えます。

■電圧抑制の履歴を確認するには

電圧上昇抑制機能が動作した日時を確認できます。
実績画面から［↓］で「電圧上昇抑制履歴」を選び［決定］を押すと、動作した日時が表示されます。

<ご注意>
［電圧抑制］が頻繁に表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メモ

・**電圧抑制とは**
多くのご家庭が一斉に電気を使われると、電力会社で規定された範囲内で電圧が低くなる場合があります。
逆に電気の使用量が減ると、電圧が高くなる場合があります。
商用電源の電圧が設定値（電力会社による指定値が設定されています）を超えた場合、商用電源の電圧上昇を抑制するために、発電電力量を抑える制御のことを「電圧抑制」と言います。
（［電圧抑制］と表示されます）
商用電源の電圧が正常に戻れば［電圧抑制］の表示は消えて、通常の運転に戻ります。

「温度抑制」と表示されたら

パワーコンディショナ内部の温度が高くなりすぎると、機器に悪影響を与える場合があります。
「温度抑制」とリモコンに表示されたときは、パワーコンディショナが温度の上昇を防ぐため、出力を一時的に抑えています。
通常はこの表示が出たとしても故障ではありません。温度が正常に戻ると表示は消えます。

温度抑制

パワーコンディショナ内部の温度上昇を防ぐため、出力を抑えています。

メモ

- **温度抑制について**

  温度抑制 と表示されているときは、パワーコンディショナの温度環境が厳しい状態です。
  パワーコンディショナに直射日光があたっていないか、通風口がふさがれていないかなどをご確認ください。

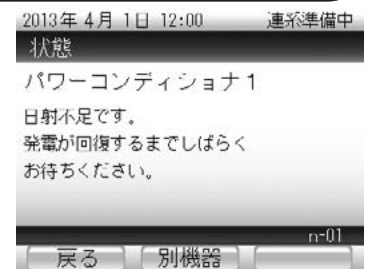
<ご注意>

- 温度･電圧抑制 と表示されることもあります。
  頻繁に表示されたり、長時間消えないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

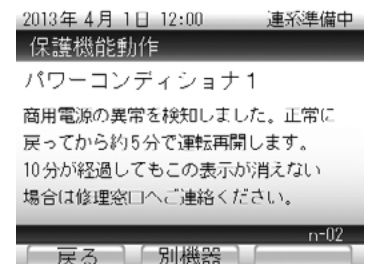
「状態」「保護機能動作」「エラー報告」「運転状態が異なっています」とメッセージが表示されたら

「状態」と表示された場合

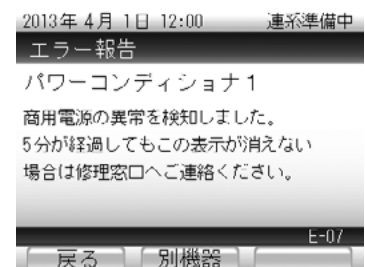
パワーコンディショナに問題はありませんが、日射不足により発電できない状能となっています。
日射状況が回復するまでしばらくお待ちください。

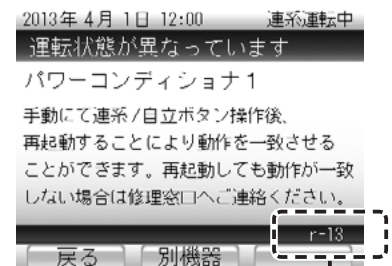
2013年 4月 1日 12:00 連系準備中
状態
パワーコンディショナ1
日射不足です。
発電が回復するまでしばらく
お待ちください。
n-01
戻る 別機器

「保護機能動作」と表示された場合

パワーコンディショナに問題はありませんが、周囲の状況に何らかの異常が発生し保護機能が動作している状態です。
画面に表示される対処法に従って保護機能動作を解除してください。

2013年 4月 1日 12:00 連系準備中
保護機能動作
パワーコンディショナ1
商用電源の異常を検知しました。正常に
戻ってから約5分で運転再開します。
10分が経過してもこの表示が消えない
場合は修理窓口へご連絡ください。
n-02
戻る 別機器

「エラー報告」と表示された場合

パワーコンディショナ、リモコン、商用電源などに何らかのエラーが発生している状態です。
画面に表示される対処法に従ってエラーを解除してください。

2013年 4月 1日 12:00 連系準備中
エラー報告
パワーコンディショナ1
商用電源の異常を検知しました。
5分が経過してもこの表示が消えない
場合は修理窓口へご連絡ください。
E-07
戻る 別機器

「運転状態が異なっています」と表示された場合

パワーコンディショナを複数台接続している場合、運転状態は共通にしておく必要があります。
各々のパワーコンディショナの動作が一致していない場合は、このメッセージが表示されます。メッセージに従って動作を一致させてください。

トップ画面に戻ります。

パワーコンディショナを複数台接続している場合、別のパワーコンディショナのメッセージを表示します。

■メッセージが表示されずトップ画面にメッセージコードのみが表示された場合

メッセージが表示されず、トップ画面右下にメッセージコードのみが表示される場合があります。
これは保護動作中であり、状況が改善されれば自動的にコードは消えます。
状況が一定時間経過しても改善されない場合は、メッセージが表示されます。

メッセージ／メッセージコード一覧

表示されるメッセージには以下の種類があります。
メッセージの末尾に表示されるアルファベットと 2 桁の数字がメッセージコードです。
「修理窓口へご連絡ください。」とメッセージが表示された場合はメッセージコードをお控えの上、お買い上げの販売店にご連絡ください。（☞ 55 ページ）

メッセージタイトル	メッセージ	コード	内容
保護機能動作	商用電源の異常を検知しました。正常に戻ってから約 5 分で運転再開します。10 分が経過してもこの表示が消えない場合は修理窓口へご連絡ください。	g-01	線間電圧の異常を検出した
		g-02	商用電源の電圧が上昇した
		g-03	商用電源の電圧が低下した
		g-04	商用電源の周波数が上昇した
		g-05	商用電源の周波数が低下した
		g-06	商用電源の周波数が大幅に上昇した（周波数異常）
		g-07	商用電源の周波数が大幅に低下した（周波数異常）
		g-08	商用電源の停電を検出した（単独運転受動）
		g-09	商用電源の停電を検出した（単独運転能動）
		g-13	商用電源の電圧が瞬間的に低下した
		n-02	停電表示
	太陽電池の出力電圧が高くなっています。しばらく経ってもこの表示が消えない場合は修理窓口へご連絡ください。	d-x1	入力過電圧
		n-03	入力過電圧
	自立運転用コンセントに接続した機器の消費電力が発電量より大きくなっています。使用している機器を減らして消費電力を下げてください。	e-08	不足電圧（自立）
		e-09	過負荷（自立）
		e-10	過電流（自立）
エラー報告	パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。5 分が経過してもこの表示が消えない場合は修理窓口へご連絡ください。	D-x2	出力過電圧
		E-01	IPM エラー
		E-02	ファンロック
		E-06	DD コン過電圧（出力）
		E-12	システムエラー（DSP）
		E-13	システムエラー（MPU）
		E-14	EEPROM リードエラー DSP
		E-15	EEPROM リードエラー MPU
		E-16	I2C 未書き込み
		E-17	DDC-MPU 通信エラー

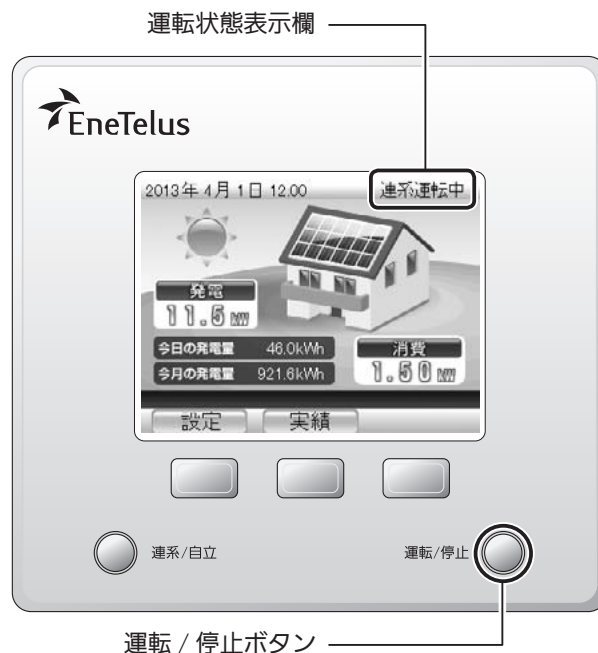
メッセージタイトル	メッセージ	コード	内容
エラー報告	パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。5 分が経過してもこの表示が消えない場合は修理窓口へご連絡ください。	E-18	DSP-MPU 通信エラー
		E-19	外部ファンロック
		E-20	内部ファンロック
		r-04	リモコン異常（通信データ異常）
	パワーコンディショナ内部の異常を検知しました。修理窓口へご連絡ください。	D-x5	サーミスタ抜け
		D-x6	常時過電流
		T-01	温度ヒューズが切れた（AC）
		D-x7	温度ヒューズが切れた（DC）
		T-02	温度ヒューズが切れた（DC）
		T-03	サーミスタがオープン状態
		T-04	サーミスタがショート状態
		T-05	系統ヒューズ切れ
		T-06	連系コンタクタ接点不良
	パワーコンディショナの温度が高くなっています。周囲の確認をお願いします。対処してもこの表示が消えない場合は修理窓口へご連絡ください。	D-x3	加熱保護
		D-x4	温度パワーセーブ
		E-03	サーミスタの温度が上昇した
	商用電源の異常を検知しました。5 分が経過してもこの表示が消えない場合は修理窓口へご連絡ください。	E-04	過電流を検出した
		E-07	直流分を検出した
	リモコンが正常に動作していません。修理窓口へご連絡ください。	R-02	リモコン異常（時刻異常）
		R-03	リモコン異常（割り込み異常）
状態	日射不足です。発電が回復するまでしばらくお待ちください。	n-01	日射不足表示
		n-04	入力電力不足表示
	パワーコンディショナを起動できません。日射回復後に操作してください。十分な日射回復後の操作でも起動しない場合は修理窓口へご連絡ください。	r-16	入力電力不足でパワーコンディショナの起動操作ができない
	パワーコンディショナの通信バージョンが従来と異なります。変更後のバージョンでリモコンを使用するにはサービスマンモードからリモコンのデータ初期化を実行してください。	r-17	リモコンとパワーコンディショナの通信バージョンが不一致
運転状態が異なっています	手動にて連系 / 自立ボタン操作後、再起動することにより動作を一致させることができます。再起動しても動作が一致しない場合は修理窓口へご連絡ください。	r-13	2 台運転時　動作不一致エラー（連系 / 自立）
	手動にて運転 / 停止ボタン操作後、再起動することにより動作を一致させることができます。再起動しても動作が一致しない場合は修理窓口へご連絡ください。	r-14	2 台運転時　動作不一致エラー（運転 / 停止）

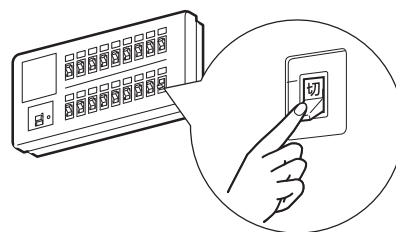
※コードで “D-x”, “d-x” と表にあるものは、x に 1 ～ 5 が入ります。x は DC/DC コンバータの番号を表します。

パワーコンディショナを緊急停止する

万が一、パワーコンディショナから、煙、異音、異臭などが発生したときは、以下の操作でパワーコンディショナを緊急停止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

1 パワーコンディショナ運転中に運転 / 停止ボタンを 3 秒間押し続ける

2 運転状態表示が「自動停止中」「連系手動停止中」であることを確認する

3 ご家庭の分電盤内の太陽光発電用ブレーカを「OFF」にする

パワーコンディショナの電源が切れ、動作が完全に停止します。

4 お買い上げの販売店に連絡する

お客様による再起動を行わず、緊急停止した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

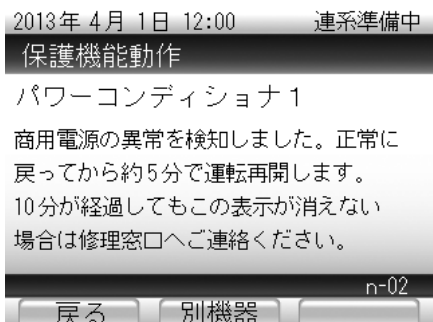
パワーコンディショナを再起動する

エラーなどによりパワーコンディショナの再起動が必要な場合は、以下の操作で再起動してください。
なお、太陽光発電中（日中）のみ再起動できます。

1 運転 / 停止ボタンを押す

2 運転状態表示が「連系（自立）運転中」であることを確認する

停電したときは

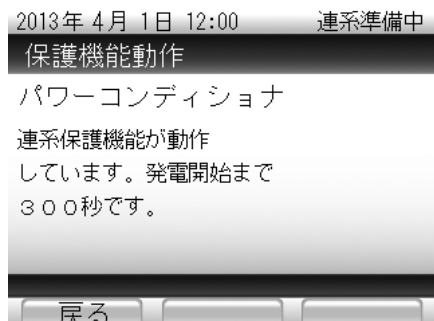
電力会社の停電などで外部からの電力供給がなくなると、パワーコンディショナの運転は停止し、ディスプレイにメッセージを表示します。（夜間を除く）
停電が復旧後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナが運転を再開します。

停電が発生したことを
ディスプレイに表示します。

■停電時に太陽光発電の電気を使用することができます（自立運転）

停電中に自立運転モードに切り替えると、太陽光発電で発電した電気を使用することができます。

＜ご注意＞

- 自立運転の注意事項（☞ 42 ページ）をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■運転可能な状態に回復したときのディスプレイ表示

停電から回復したときと、日の出、日没など日射が不安定な状態から回復したときには、
商用電源と日射がともに安定しているかを確認するために、一定時間のカウントダウンを行います。

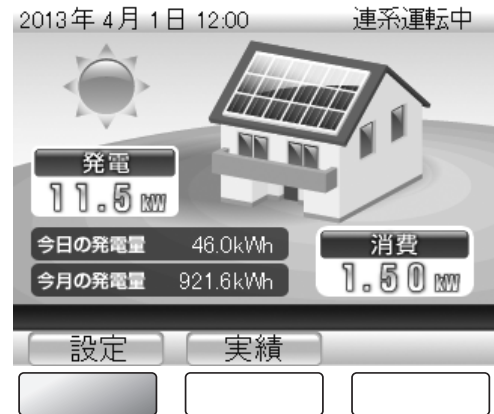
日の出、日没となったとき、リモコンの発電状態表示ランプが緑色に点滅することがありますが、故障ではありません。
また、停電中に日射がない状態ではリモコン表示はできません。

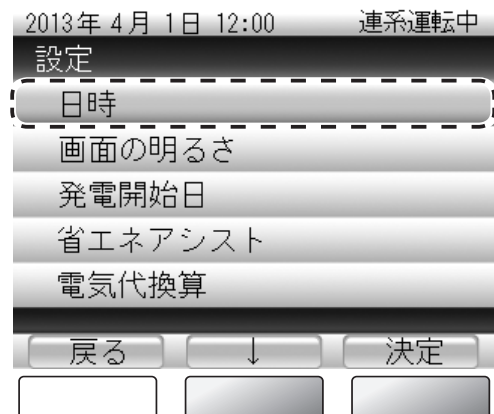
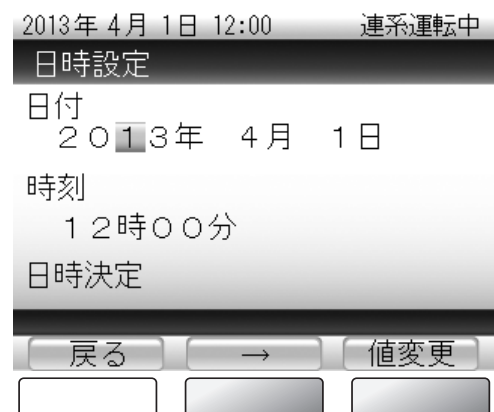
日時の設定を変更するときは

日時の設定を変更するときや実際の日時と異なるときは、以下の操作で設定してください。

<ご注意>
- 日時の設定時に誤って過去の日時を設定すると、履歴データが消えてしまうことがあります。
  消えた履歴データは元に戻せませんのでご注意ください。

1 トップ画面で［設定］を押す

設定項目の選択画面が表示されます。

2 ［↓］で「日時」を選び、［決定］を押す

日時設定の画面が表示されます。

3 日時を修正する

- ［値変更］：カーソルで選択されている数値を変更します。（0～9）
- ［→］：カーソルを次の桁または項目に移動します。

4 [→] で「日時決定」を選び、[決定] を押す

確認画面が表示されます。

5 画面の内容を確認して [決定] を押す

設定項目の選択画面に戻ります。

- 日時を変更するときは、[戻る] で日時の設定画面に戻ります。

※誤った日時を設定すると、過去の履歴データが消去されることがあります。

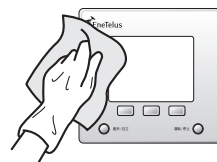
お手入れのしかた

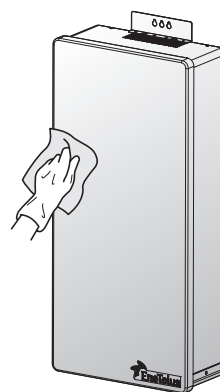
長年ご使用いただくため、太陽光発電システムは以下の要領でお手入れをお願いします。

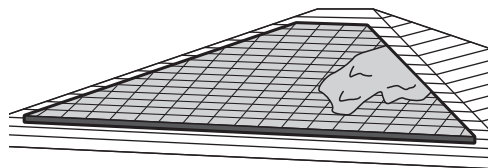
＜ご注意＞

- 屋根の上など高所に設置されている太陽電池モジュールの点検やお手入れは特に危険です。
  太陽電池モジュールのお手入れはお客様ご自身で行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

■リモコン

① ひどい汚れは水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。
② 乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。
※ 液晶画面を拭くときは、あまり強く押さえないでください。
　故障の原因になります。

■パワーコンディショナ

- お手入れするときは、必ずパワーコンディショナの運転を停止してください。（☞ 40 ページ）
  連続運転のままお手入れすると危険です。
- 日常はパワーコンディショナ本体通気口のほこり取り、表面の清掃を行います。それ以外はお買い上げの販売店に依頼してください。

■太陽電池モジュールのガラス表面

- 通常の汚れ程度は発電に影響ありませんが、鳥のふん、火山灰、油煙などがガラス表面に着いて著しく汚れた場合は、発電効果が下がり、発電量が少なくなります。この場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

不具合発生時のお願い

システム異常を確認した場合は速やかに運転／停止ボタンで運転を停止して分電盤内の太陽光発電用ブレーカを「OFF」にしてお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

- お客様名
- ご住所
- ご連絡先
- パワーコンディショナ形式（本体底面に記載）
- 設置時期
- 不具合の状況
- メッセージコード（☞ 47 ～ 48 ページ）

お客様名	
ご住所（システムの設置場所）	
ご連絡先	
パワーコンディショナ形式 （本体底面に記載）	
設置時期	
不具合の状況	
表示されているメッセージコード （47 ～ 48 ページをご参照ください）	
お買い上げの販売店	

索引

英字

CO_2 削減量 …… 29

あ行

アース …… 13
明るさ …… 20
運転状態 …… 15、17
運転状態が異なっています …… 46
運転状態表示ランプ …… 10
運転 / 停止ボタン …… 11、40
運転モード …… 17、41
エラー …… 46、47、48
エラー報告 …… 46
屋内分電盤 …… 6、49
お手入れ …… 54
温度抑制 …… 45

か行

外観（パワーコンディショナ）…… 13
外観（リモコン）…… 10、12
各種の設定をする〔章もくじ〕…… 19
各部の名前とはたらき〔章もくじ〕…… 9
画面 …… 14、16
画面の設定 …… 20
画面を表示する …… 16
環境貢献 …… 29
緊急停止（パワーコンディショナ）…… 49
故障 …… 44
こんなときは〔章もくじ〕…… 39

さ行

再起動（パワーコンディショナ）…… 50
時刻の設定 …… 52
実績 …… 27、29、30、33、36
省エネアシスト …… 31
省エネ目標 …… 31
省エネ率 …… 31
消費量 …… 27、30、36
商用電源 …… 13
自立運転 …… 41、42
自立運転モードに切り替える …… 41
自立運転用コンセント …… 6、13、42
設定 …… 20、22、31、34、52
節電 …… 31、33
操作ボタン …… 11

た行

太陽光発電用ブレーカ …… 49
太陽電池モジュール …… 6
ディスプレイ …… 11、14、16
ディスプレイの設定 …… 20
停電 …… 42、51
電圧抑制 …… 44
電気代換算 …… 34
電力量 …… 15、34
電力量計 …… 6
トップ画面 …… 14、16

な行

日時の設定 …… 52

は行

発電開始日 …………………………………… 22
発電実績 ……………………………………… 27
発電の実績を見る・設定する〔章もくじ〕… 25
発電量 …………………………………… 27、30
パワーコンディショナ … 6、13、49、50
パワーコンディショナ緊急停止 ……… 49
パワーコンディショナ再起動 ………… 50
日付の設定 …………………………………… 52
表示する ……………………………………… 16
保護機能動作 ……………………………… 46
ボタン名表示エリア …………………… 11

ま行

メッセージ …………………… 46、47、48
メッセージコード ………………… 47、48

や行

抑制 ……………………………………… 44、45

ら行

ランプ …………………………………… 10、11
リモコン ………………… 6、10、14、16
連系運転 ……………………………………… 17
連系運転モードに戻す ………………… 41
連系 / 自立ボタン ………………… 10、41

製造：田淵電機株式会社
〒532-0003　大阪市淀川区宮原 3 丁目 4 番 30 号
ニッセイ新大阪ビル 10 階

DOC01-1002D